

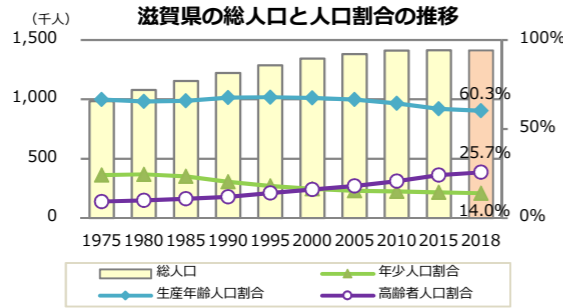
人口減少を見据えた未来へと幸せが続く滋賀 総合戦略（原案）の概要

計画期間 令和2年度（2020年度）～令和6年度（2024年度）

人口ビジョン

1 人口の推移

■ 滋賀県の人口は、1960年代後半から増加し続けていたが、2013年の約142万人をピークに現在は人口減少へ。



2 出生・死亡、転入・転出の推移

■ 「自然増減」：2016年以降、出生数を死亡数が上回る自然減の幅が拡大
 ・出生数…減少継続（2017年以降1.2万人を割り込む）
 ・死亡数…増加継続（2017年以降1.3万人を上回る）
 ■ 「社会増減」：2013年以降、転入数を転出数が上回る社会減
 ○ 外国人人口の動向
 近年は、毎年1千人超の増加があり、2018年末で約3万人

3 年齢階級別の人口移動の状況

■ 20～24歳は大学・短大等の卒業後に、県外へ就職する者が多く、1千人を超える転出超過が継続
 ■ 30代を中心とした子育て世代の転入超過が近年減少

4 地域ブロック別の人口移動の状況

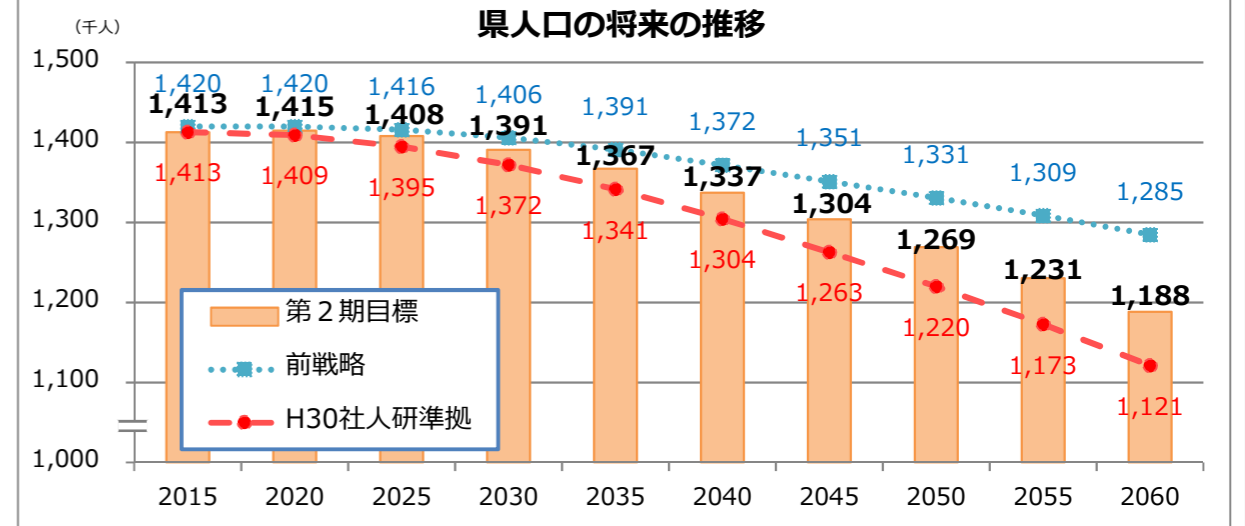
■ 東京圏への転出超過が継続（とりわけ、関西圏からの転入が近年減少）
 ■ 関西圏から（へ）の転入数は、東京圏や名古屋圏から（へ）の約3倍。

人口の将来展望

| 総人口 | 2040年 | 2060年 |
|-------|---------|---------|
| 前戦略 | 1,372千人 | 1,285千人 |
| 第2期目標 | 1,337千人 | 1,188千人 |
| 社人研推計 | 1,304千人 | 1,121千人 |

前戦略：出生率が2040年に1.94、2050年に2.07
 第2期：出生率が2060年に1.80に達する想定
 社人研：出生率は概ね1.6台前半で推移

社会増減では、県全体でプラスになるよう取り組む。



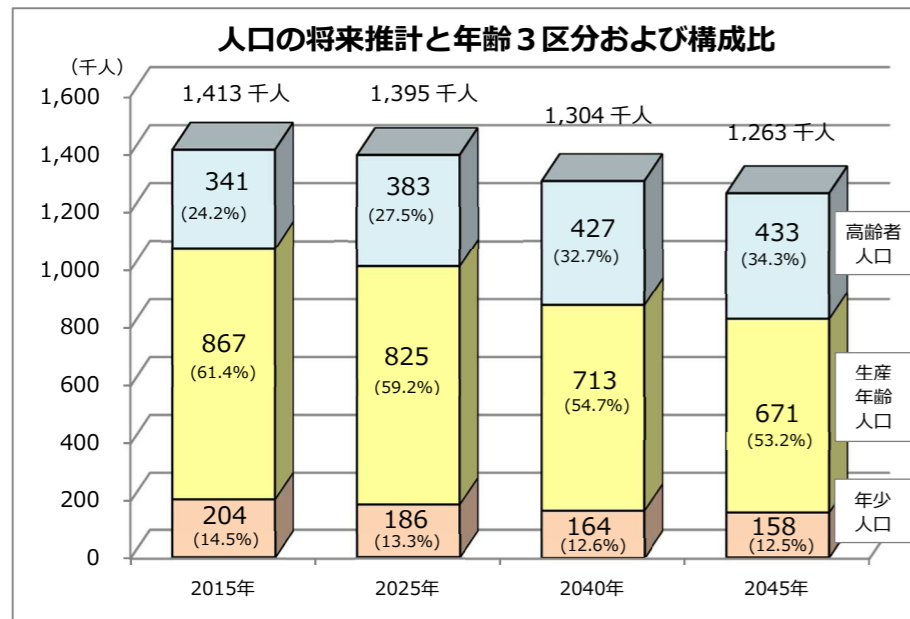
重視する視点

| | |
|-------------------------|--|
| ① 若い世代への支援と転入の拡大 | 結婚・出産・子育ての希望を実現できる気運の醸成を図り、社会全体で若い世代を応援する。東京圏や関西圏からの20代～30代人口の転入者を増やすことで、県全体の社会増を狙う。 |
| ② Society 5.0を見据えた産業の振興 | 情報通信をはじめとした新技術と人々の生活とが調和する社会を支える産業を振興する。 |
| ③ 誰もが活躍できる共生社会の推進 | 近年増加している外国人の適正・円滑な受入れとともに、人生100年時代を見据え、地域における共生社会等の環境を整備し、暮らしや雇用において人々の希望をかなえる。 |
| ④ 「関係人口」の創出・拡大 | 滋賀県出身者や滋賀の暮らしぶりに共感する人など、滋賀県への移住・Uターンの支援はもとより、県外在住であっても、県内の各地域に多様な形で関わる「関係人口」等を創出・拡大し、地域で活躍する人々を応援する。 |
| ⑤ 人口減少が進む地域への対応 | 今後人口減少が加速するとみられる農山村地域の個性や実情に応じた柔軟な施策を展開するとともに、農山村地域と都市部とが互いを補い合えるような取組を進める。 |

人口の将来推計

1 人口の将来推計（平成30年の社人研推計に基づく）

■ 2045年の総人口は126.3万人（2015年より10.6%減少）
 ■ 高齢者人口は43.3万人に増加し、高齢者人口割合は35%近くに
 ■ 県内市町は人口増が続く地域と人口減が続く地域に二分化の見通し



次期総合戦略の構成

| 政策分野 | 次期戦略の基本政策 | 基本政策において目指す方向性 | 主な施策 |
|-----------------------------------|--------------------------------------|---|---|
| 結婚 出産 子育て ・ 全世代 活躍 | 1 みんなで応援する結婚・出産・子育てと人生100年時代の健康しがの実現 | 1) 子どもを安心して生み育て、子どもの健やかな育ちを支える社会づくり | かなえる チカラ ① 子どもを生み育てやすい環境づくり ② 子ども・若者を社会全体で応援 ③ 仕事と子育ての両立に向けた働き方改革の推進 |
| | | 2) 子どもがたくましくしなやかに生きる力を身に付けるための教育 | |
| | | 3) 人生100年時代の健康しがの実現 | |
| しごと づくり | 2 次代に向かう産業の活性化と多様で魅力ある働く場の創出 | 1) 成長市場・分野を意識した産業創出・転換 | 稼ぐ チカラ ① 子ども一人ひとりの個性を大切に、生きる力を育成 ① 健康増進に向けたいきいきとした暮らしの推進 ② 文化やスポーツを通じた元気な地域づくり |
| | | 2) 生産性の向上や高付加価値化による力強い農林水産業の確立 | |
| | | 3) 人材の確保・育成と経営の強化 | |
| | | 4) 誰もが働き、活躍できる環境の整備 | |
| 人の 流れ | 3 様々な人々が集い、琵琶湖と共生する魅力的な滋賀づくりと次世代への継承 | 1) 訪れる人・関わる人の創出 | つながる チカラ ① 先端技術等を活用した新たな市場展開や交流によるイノベーションの創出 ② 滋賀の強みを活かした産業の創出 ① 農林水産物のブランド力向上 ② マーケットインの視点による農林水産業の展開 ① 人材の確保・定着と事業承継 ② 各分野の人材育成とダイバーシティ経営の推進 |
| | | 2) 暮らしを支える地域づくり | |
| 地域 づくり | 3) 森・川・里・湖の多面的価値を未来へ引き継ぐ地域づくり | 引き継ぐ チカラ ① 誰もが活躍できる多様な働き方の推進 ② 学び直しや再挑戦しやすい環境づくり ① 滋賀ならではの特色を活かした観光の創造 ② 多様な人が関わり合う地域の創造と移住の促進 ① 地域コミュニティを支える人材の育成等 ② 暮らしやすいコンパクトなまちづくり ③ 地域を支える新たな公共交通の仕組みづくり ① 農山漁村の持つ多面的価値の次世代への継承 ② 琵琶湖の保全再生と活用 ③ 生物多様性の確保、森林の多面的機能の発揮 | |